

宝塚市の防災情報 (大人の人と一緒に確認しましょう)

- 宝塚市災害ポータルサイト



- たからづか防災マップ



- 市災害対策本部
0797-71-1141

発熱などの風邪症状のある場合は直接避難所に行かず、市災害対策本部へ相談して指示に従ってください。

- 宝塚市緊急情報twitter



- テレビのリモコンdボタン

テレビ番組視聴中に、リモコンの『dボタン』を押すと、最新の気象情報や河川の水位情報、自治体から発令される避難情報などがテレビのデータ放送で確認できます。

ひょうご防災ネット (宝塚市安心メール) に登録を!

避難所開設状況や、避難情報の発令状況が配信されます

アプリ版

Android iOS



メール版

takarazuka@bosai.net

へ空メールを送信。



こども ぼうさいてちょう 防災手帳



売布小学校区まちづくり協議会

1. 自分^{じぶん}のこと



ふりがな 名前	
住所	宝塚市
電話番号	☎
生年月日	
血液型	
学校名	
かかりつけ医	
持病・アレルギー	
服用中のお薬	

※手帳の紛失等による個人情報の漏洩にはご注意ください。

2. 家族^{かぞく}のこと

お名前	あなたとの関係
連絡先電話番号 ☎	会社名など
お名前	あなたとの関係
連絡先電話番号 ☎	会社名など
お名前	あなたとの関係
連絡先電話番号 ☎	会社名など
お名前	あなたとの関係
連絡先電話番号 ☎	会社名など

ひなん 3. 避難のこと

避難先について家族で話し合っておきましょう。

かそく しゅうごうばしょ
家族の集合場所

ひなんさき
避難先（避難所）

じしゅひなんばしょ
大雨や台風のときの自主避難場所（避難所とは違う場合があります）

きんきゅうれんらくさき
緊急連絡先（遠方のしんせきなど）

お名前

連絡先電話番号



住所

お名前

連絡先電話番号



住所

ひなんじょ ちず 避難所までの地図

とき れんらくさき
いざという時の連絡先

しょうぼうしょ きゅうきゅう・かじ
消防署（救急・火事）

119

けいさつしょ
警察署

110

さいがいようでんごん
災害用伝言ダイヤル

171

電話がつながりにくい場合に、
安否を確認するのに役立ちます。

4. 備蓄品のチェック

※家族で話し合っ^て、必要^なもの^を決め^ましょう。
他人^に借^りられ^ないもの^は必ず^用意^します。



備蓄^するもの^には○、非常^持ち出^し袋^に入^れるもの^には◎を^書き^ましょう。

たべもの		タオル・ティッシュ
水（保存水）		携帯電話充電器
ミルク・ベビーフード		レインコート
ラジオ・電池		下着・肌着・靴下
かいちゅうでんとう		くすり
ライター・マッチ		ばんそうこう・消毒薬
ろうそく・ランタン		マスク
ヘルメット・ぐんて		貴重品
あせふきシート		ビニールぶくろ
すいとう		使い捨て食器

5. 地震が起きたら

たてももの中^にいるとき

- 物が^お落ちてくる^{ばしょ}場所^からはなれ、ふとんやざぶとん、フライパンなど^{あたま}で頭^{まも}を守る。
- じょうぶな^{つくえ}机^かや^{した}テーブル^の下^にもぐり、足^{あし}などを^しっか^りつかむ。
- 火^ひを使^{つか}っている^{ばあい}場合^は、ゆれ^けがおさま^ってから^け消^す。
- もし^{かじ}火事^おが起^{おこ}き^えて^しいたら^{まわり}に^{おおこえ}大^し声^で知^らせ^る。
- 玄関^{げんかん}の^あド^あア^にや^{みち}ま^{つく}ど^を開^きけ^て逃^にげ^{みち}道^をを^つく^る。
- 割^われた^{しよつき}ガ^らス^や食^じ器^など^でケ^がを^しな^いよ^う、く^つを^はく。
- 停^{てい}電^{でん}した^{さい}際^は、通^{つう}電^{でん}火^か災^{さい}を^ふせ^るため^にブレー^きカー^を切^{てん}っ^て電^{でん}化^か製^{せい}品^の電^{でん}源^{げん}を^ぬき^ぬく。



外^にいるとき

- ブロック^{べい}塀^{たても}や^{はな}建^{あたま}物^{まも}の^{はな}ガ^らス^など^から^{はな}離^れ、頭^{あたま}を^{まも}る。
- 電^{でん}車^{しゃ}、バ^のス^のな^{ばあい}ど^かに^か乗^かっ^てい^る場^{うんてんしゆ}合^しは、係^し員^しさん^しや^し運^し転^し手^しさん^の指^し示^しに^した^がう。
- エレ^とベ^こーター^のに^{ひじょう}閉^がじ^めら^れた^ら、非^{ひじょう}常^がボ^がタ^がン^がな^どで^外部^ぶと^{れん}ラ^くと^と連^ま絡^まを^とり^なが^ら待^まつ。

6. 大雨・台風のときは



- じぶんの家や学校の近くの危険な場所を調べておき、家族で話し合い避難行動を決めておく。
- 台風・大雨が来る前に、食料や懐中電灯など必要なものをしっかり準備しておく。（賞味期限切れ、電池切れなどもチェックする。）
- 避難所に行くことだけが避難ではありません。安全な自宅の上階やホテル、親戚や知人の家への避難も検討する。

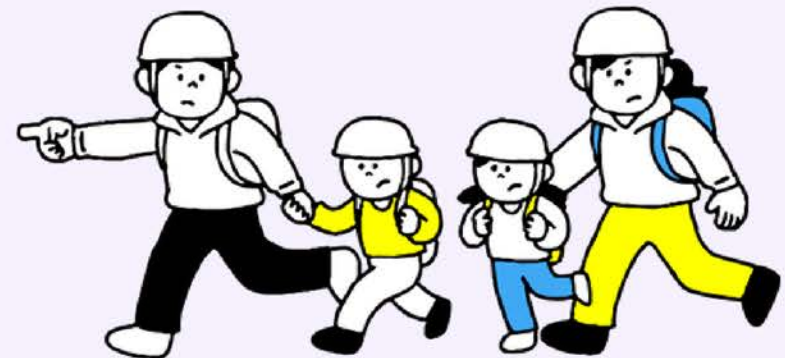


7. 避難するときの注意

- 避難するときは、家族、近所の人、先生などできるだけ大人といっしょに避難する。
- ヘルメットや防災頭巾、カバンなどで頭を保護し、歩きやすい運動靴で避難する。
- ブロック塀や石壁などからは離れて歩く。
- エレベーターは使わない。
- 信号がこわれていることもあるので車には十分気を付ける。

こまったときは・・・

- 知っている人、アトム110番の家の人などにたのんで、安全な場所へつれて行ってもらいましょう。
- 「助けてください」「安全なところへ連れて行ってください」とまわりの人に呼びかけましょう。



非常用ねこ砂トイレセット

【ねこ砂トイレ】1回分

- ねこ砂（紙製）紙コップ1杯分（約200ml）
- 黒いごみ袋（45L）

【使う時に用意するもの】

- トイレットペーパー
- おしりふきや脱脂綿

【使い方】

1. 洋式トイレの便器を白いごみ袋でおおっておく
2. 便座を黒いごみ袋でくるむようにセットする。
3. 新聞紙とねこ砂を黒ごみ袋の中に入れる。
4. 使用したトイレットペーパーやおしりふきなども黒ごみ袋の中に入れる。
5. 黒ごみ袋を便座から外し（白は外さない）なるべく空気が入らないように袋の口をしっかりと結んで捨てる。



快適に使うために

- 排泄物の量が多い時は、使用後にねこ砂を上からふりかける。
- においが気になる時には、台所用ハイターを1滴たらしてから袋の口を閉じる。
- 肌が敏感な人は、脱脂綿を清潔な水やお湯で濡らしたものでやさしくふいて清潔に。かぶれ防止のために水分はトイレットペーパーでよくふきとる。
- 1回分は約20円。体調をくずさないためにも水分をがまんせず、気軽にトイレにいきましょう。
- 排泄後のごみ袋をすてる場所はトイレ外にしておくと快適なトイレを維持しやすくなります。ふたつきの容器を用意しておきましょう。

・ 防災手帳の作り方

A4に片面印刷します。

2ページ目から6ページ目を半分に折り、半分に折った表紙（1ページ目）で挟み込んでホッチキスでとめてください。

